

スターダンサー バレエ団公演

アダン作曲「ジゼル」
FAコーヘン作曲「緑のテーブル」

8月5日(金)午後1時
文化会館太ホール



新星日本交響楽団の演奏とスターダンサーバレエ団による本格的なバレエ公演です。

対象・青少年に限りです

入場料・無料(入場券が必要です)

申込書には、住所、氏名、年齢を記載し、封筒に入れて申し込むこと。その際切手を貼った返信用封筒(住所、氏名を記載)を同封してください。一人一枚に限りです。応募者多数のときは抽選し、当選者には入場券を発送します。〈送り先〉大館市宇桜町南85番地 大館市民文化会館 〈締切〉7月20日

松竹歌劇団公演

7月20日から入場券発売

内容・第1部民謡ファンタジー
第2部グランドレビュー東京踊りと
き・9月17日(土)

午後2時・6時30分の2回

入場料・A席2,300円 B席2,000円
〈入場券発売所〉いとくショッピングセンター、正礼竹村、秋北観光、秋北ホテル、又久書店、大森商店(花岡)、阿部商店(十二所)、文化会館

大館のむがしっこ

文・河田竹治さん
(赤館町)

大関を倒した三十郎



絵・田村純一さん(菅田子)

〈4〉

片山にある八坂神社は、昔から宮ずもうが盛んなところであった。この神社の奉納ずもうに明治七、八年ごろには大関雷電為右衛門が明治十七年には梅が谷という有名な関取りが来ている。

さて、話しは徳川三代将軍家光の時代のことである。江戸に大関(当時の最高位)明石志賀之助という背丈八尺三寸(約二・五尺)のすもうとりがいた。この明石は「おれは日本で、一番強い」と大いばりしていた。

そこで将軍様は秋田の佐竹の殿様に「お前の国ではすもうが盛んなぞうではないか。お前の国の一番強い者を大関明石とすもうを取らせてみる」と言った。

佐竹の殿様は、藩内で一番強い片山に住む三十郎を江戸に呼びずもうを取らせることにした。

将軍様の御前で大関明石志賀之助と三十郎はガツブリ四つに組んだ。さすが明石は江戸ずもうの大関、あつという間に三十郎の体を軽々と抱き上げ、さらに頭上に差し上げようとした。そのときであつた。お前の勝ちじゃ。あつぱれ、あつぱれ」とおっしゃった。

佐竹の殿様は大変喜んで、三十郎に金三百匁と蜀江の錦(京都の西陣で織り出す錦の一種)でつくった立派なしめこみを与えた。そして「今日から、がけつぱなし二度右衛門」と名のるように」と言われたということである。

「将軍様やみな様は知らねえで騒いでいるようですが、この手は、たかのくい落し」というりっぱな相撲の引つけ手だ」と申し上げた。将軍様はしばし考えこんでいたが「三十郎、見事なすもうであつた。お前の勝ちじゃ。あつぱれ、あつぱれ」とおっしゃった。

しかし三十郎少しもあわてず、

「お前の国ではすもうが盛んなぞうではないか。お前の国の一番強い者を大関明石とすもうを取らせてみる」と言った。

「おれは日本で、一番強い」と大いばりしていた。

そこで将軍様は秋田の佐竹の殿様に「お前の国ではすもうが盛んなぞうではないか。お前の国の一番強い者を大関明石とすもうを取らせてみる」と言った。

佐竹の殿様は、藩内で一番強い片山に住む三十郎を江戸に呼びずもうを取らせることにした。

将軍様の御前で大関明石志賀之助と三十郎はガツブリ四つに組んだ。さすが明石は江戸ずもうの大関、あつという間に三十郎の体を軽々と抱き上げ、さらに頭上に差し上げようとした。そのときであつた。お前の勝ちじゃ。あつぱれ、あつぱれ」とおっしゃった。

佐竹の殿様は大変喜んで、三十郎に金三百匁と蜀江の錦(京都の西陣で織り出す錦の一種)でつくった立派なしめこみを与えた。そして「今日から、がけつぱなし二度右衛門」と名のるように」と言われたということである。

こんにちは保健婦です



三種混合ワクチン

予防接種の知識

◆百日ぜき

百日ぜき菌によって起こる伝染病です。患者や保菌者のせきやくしゃみから感染します。かかり始めは普通のかぜと変わりません。しかし、せきが次第にひどくなり、息を吸うことも困難になります。高熱は出ませんが、食欲がおとろえたりします。

◆ジフテリア

ジフテリア菌によって起こる伝染病です。患者や保菌者のせき、くしゃみから感染したり、ハンカチや食器についた菌が、のどや目の粘膜、傷、口から侵入して起こります。病気にかかるると発熱し、粘膜に灰色がかった膜のようなものができます。

◆破傷風

破傷風は伝染病ではありませんが、かかると命にかかわる危険性の高い病気です。土の中にいる破傷風菌が、体の傷口から入って起こります。三種混合ワクチンの接種回数は、一期三回、二期一回の合計四回で、二十四か月から四十八か月の間に一期、二期の接種を終らせるように組まれています。接種を受けるときは接種回数を必ず守って下さい。

三種混合ワクチンを接種した後、免疫の低下を防ぐ意味から、十二歳でジフテリアと破傷風の混合ワクチンを一回接種します。

ワクチンの副作用については、五十六年秋以降改良ワクチンが使用されるようになつてから発熱は非常に少なくなりました。また注射後一週間ぐらいまでに、しこりができたり、赤くなつたりすることがありますが、あまり心配はいりません。